

歩行中の交通事故防止について

令和7年3月
青森県警察

この資料は、平成27年から令和6年までの10年間で、青森県内において歩行中に交通事故で死傷した4,099人のうち、主に高校生以下の若い年代に着目して取りまとめた資料です。

以下のとおり、

年代別で死者と負傷者を比較したとき、負傷者の19歳以下の構成比は、死者の19歳以下の構成比の約4.8倍

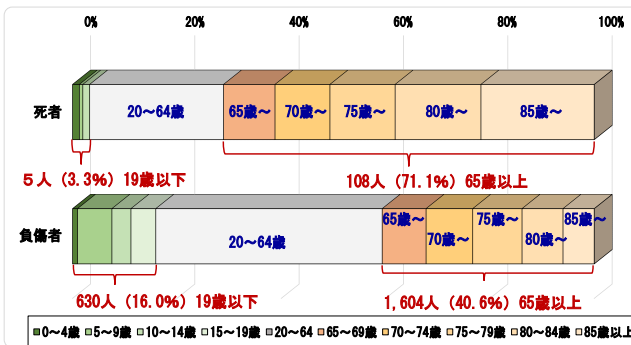
年齢別では、7歳に大きなピークが生じており、特に男児の比率が高い

死傷者の違反別では、小学生以下の違反ありのうち、半数以上は「飛出し」であるという特徴があります。

保護者の方は、小学校入学前までにお子さんと一緒に通学路を歩き、十分な交通安全指導を行いましょう。

1 歩行中の死者と負傷者の年代別構成比

19歳以下の構成比は、死者よりも負傷者の割合が大きい



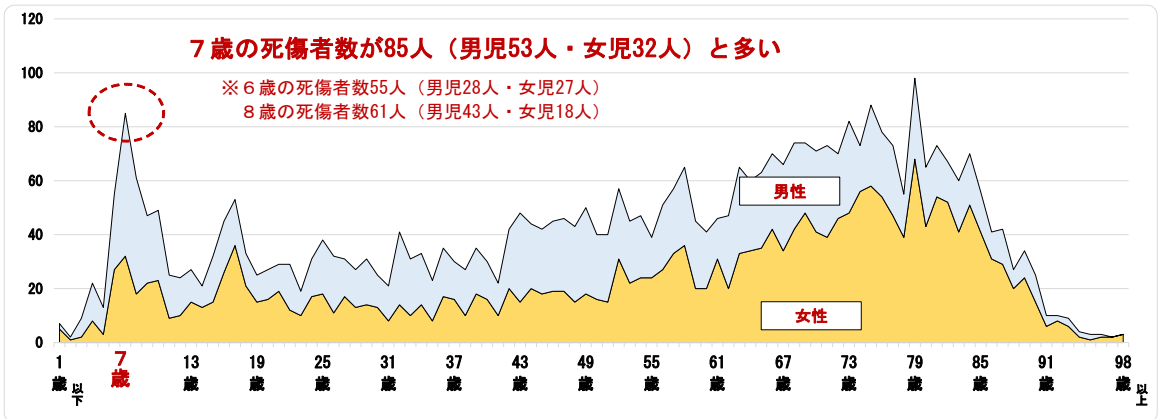
	0~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳
死者数	2	1	2	0	0	3
負傷者数	38	260	144	188	135	156

	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳
死者数	3	2	4	4	5	11
負傷者数	148	148	182	222	224	246

	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
死者数	7	15	16	19	25	33
負傷者数	252	332	353	373	310	236

2 歩行中の死傷者の年齢・男女別

高校生以下の若い年齢に着目すると、7歳の死傷者が突出しており、特に男児が多い



3 歩行中死傷者の学年・違反別

小学生以下の違反ありの半数以上は「飛出し」

	違反あり						違反あり割合	違反なし	不明	合計
	飛出し	信号無視	通行区分	横断違反	その他違反	小計				
幼児	26	1		1	16	44	68.8%	13	7	64
小1	31	2		12	2	47	58.0%	30	4	81
小2	25	2		13	1	41	56.9%	28	3	72
小3	19	5		12		36	57.1%	21	6	63
小4	12		1	7		20	44.4%	24	1	45
小5	7	1		2	3	13	34.2%	23	2	38
小6	6		1	3		10	41.7%	12	2	24
中1	2	1		1	7	12	40.0%	18		30
中2	3			1		4	19.0%	16	1	21
中3			1	2		3	16.7%	10	5	18
高1	3		4	2		9	18.0%	39	2	50
高2			4	3	2	9	19.1%	36	2	47
高3			6	2		8	18.6%	33	2	43
合計	134	12	20	68	22	256	43.0%	303	37	596

※「飛出し」とは安全を確認せず道路に飛び出したものをいう。
「不明」とは、第3当事者以降の当事者をいう。